

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成29年6月22日(2017.6.22)

【公表番号】特表2016-523834(P2016-523834A)

【公表日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【年通号数】公開・登録公報2016-048

【出願番号】特願2016-514040(P2016-514040)

【国際特許分類】

C 07 C 51/215 (2006.01)

C 07 C 53/08 (2006.01)

B 01 J 23/28 (2006.01)

C 07 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 07 C 51/215

C 07 C 53/08

B 01 J 23/28 Z

C 07 B 61/00 300

【手続補正書】

【提出日】平成29年5月11日(2017.5.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

a. エタンから、エタン酸化を経てギ酸を含む粗酢酸組成物を生成する工程、および、その後、

b. 前記粗酢酸組成物を連続分別結晶化により精製し、ギ酸を除去し、精製酢酸組成物を得る工程、

を含み、

前記ギ酸は前記精製酢酸組成物中に、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、0.2重量%未満の量で存在する、酢酸を生成するための方法。

【請求項2】

前記ギ酸は前記精製酢酸組成物中に、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、0.1重量%未満の量で存在する、請求項1に記載の方法。

【請求項3】

前記ギ酸は前記精製酢酸組成物中に、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、0.01重量%未満の量で存在する、請求項2に記載の方法。

【請求項4】

前記エタン酸化は触媒を利用する、請求項1～3のいずれかに記載の方法。

【請求項5】

前記粗酢酸組成物は、ブタン、ブテン、プロパン、またはプロピレンを含まない、請求項1～3のいずれかに記載の方法。

【請求項6】

前記粗酢酸組成物はアセトアルデヒドをさらに含む、請求項1～3のいずれかに記載の方法。

【請求項7】

前記酢酸は約 - 35 から約 - 15 の範囲の温度で結晶化される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 8】

前記酢酸は約 - 15 から約 17 の範囲の温度で結晶化される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 9】

前記酢酸は約 10 から約 17 の範囲の温度で結晶化される、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。

【請求項 10】

前記精製酢酸組成物は、前記精製酢酸組成物の総重量に基づき、1 重量 % 未満の量の総不純物を含む、請求項 1 ~ 3 のいずれかに記載の方法。